

平成 24 年度施策評価シート

第4期石狩市総合計画(戦略計画)における位置付け		1次 評価者 (当該施策 を担当する 部長)	所属	企画経済部
めざすまちのテーマ等	7 一人ひとりが主人公		職名	部長
施策項目	(1)まちづくりへの市民参画・協働		氏名	加藤 龍幸
			TEL	72 - 3163

【1 施策の目的】

市民・事業者・行政が、お互いの信頼関係を築きあい、市民活動の活性化を図るとともに、市民がまちづくりに主体的に参画するまちをめざす。

【2 戦略計画における現状と課題】

平成14年に「市民の声を活かす条例」を制定し、さまざまな行政施策の企画立案の過程で市民参加の機会を確保し、市民意見の反映につとめてきたが、地域課題が多様化し、社会情勢が変化を続ける中で、一人ひとりの市民の満足度を高めていくためには、行政だけではなく、市民や事業者も含めた地域の総力でまちづくりを進めなければならない。このため、現行の市民参加制度に加えて、地域を構成する市民や事業者がそれぞれの役割や責任を自覚し、その能力や特性を活かしながら、主体的にまちづくりに参画することが求められていることから、平成20年には、市民と行政の協働をまちづくりの基本原則に据えた自治基本条例を制定した。

今後、多くの市民が、まちづくりに参画する意識を持てるように、行政は情報提供や学習機会の提供につとめるとともに、それぞれの役割や責任、協働のためのルールを明確にしたうえで、将来目標を共有しながらまちづくりを進めていくことが必要となる。また、町内会をはじめ、市民レベルのまちづくり活動に先導的に取り組んでいるNPOや各種市民活動団体などを支援・育成していくことも重要となる。

【3 成果指標】

	指標の名称					単位	H22実績値	H28目標値
指標1	まちを良くするための各種活動に参加した市民の割合					%	36.4	40
指標2	協働事業の実施数					件	93	120
指標3								
指標4								
	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値	H23実績値	H22実績値との比較	H28目標値との比較	
指標1	33.7	36.3	34.0	36.4	28.6	×	×	
指標2	-	-	86	93	(調査中)			
指標3								
指標4								

向上、×低下 到達、×未達

【4 1次評価(担当部長評価)】

(1) 施策の推進状況とその評価

指標1は大幅に低下したことは残念な結果である。市民が主体的にまちづくりに参画できるよう、継続的な取り組みが必要である。

指標2はH21から実績をとったこともあり評価は難しいが、目標をクリアできるよう、新しい取り組みの開拓が必要である。「ぼぼらーと」については、利用人数は増加しており、更なる市と市民、市民同士の協働を深める必要がある。

(2) 本施策に関する課題とその改善の方向性

・市民協働事業提案制度については、実施事業が減少していることから、H24年度から市が市民と協働したい事業を提示する新たな制度も導入する。

・市民活動情報センター「ぼぼらーと」は、まちづくり井戸端会議「ラウンドテーブル」などと連動し、市民にとって「協働の窓口」として機能するよう指定管理者とも協議しながら進める。

(3) (2)に関する具体的な対応策、改善事項 具体的な事業名を併記

(重点化)		
手法改善	協働事業提案制度に「行政提案型」制度を追加	協働推進事業
(縮小)		

【5 パブリックコメント】

--

【6 外部評価（対象施策・行政評価委員会）】

(1) 1次評価の内容に関する意見
(2) 課題とその改善の方向性に関する意見
(3) 具体的な改善策に関する意見、その他個別事項等に関する意見

【7 中間精査（1次評価「具体的な対応策、改善事項」のフォローアップ・担当部長）】

(1) 1次評価からの変更点

【8 最終評価（行政評価会議）】

(1) 拡充(重点化)を図る事項(新規事業を含む。)
(2) 手法改善を図る事項
(3) 縮小(統合)を図る事項

施策名 まちづくりへの市民参画・協働

	人件費	事業費	総コスト
平成22年度施策コスト	20,920	4,192	25,112 千円

市民一人あたり
412 円

施策の体系	事業名	担当課	H23決算				優先度			現状の課題	今後の方向性	
			人工 (関係課含む)	特定財源 うち地方債	一般財源	事業費計	高い 極めて	高い	高くない			
協働システムの確立と運用												
1	市民参加推進事業	協働推進・市民の声を聴く課	1.00			292	292				市民の参画意識を高めること。	市民参加制度調査審議会は今後、良好な運用状況を維持していくための監視役としての役割を重視していく。
2	協働推進事業	協働推進・市民の声を聴く課	1.20	200		3,700	3,900				協働の推進のため市民、行政活動全般に働きかける新たな取り組みが必要。	協働事業提案制度に新たに市が市民と協働したい事業を提示する「行政提案型」制度を加える。
情報の提供と啓発の推進												
3	【再掲】 市民参加推進事業	協働推進・市民の声を聴く課					-					
4	【再掲】 協働推進事業	協働推進・市民の声を聴く課					-					
市民活動の推進												
5	【再掲】 協働推進事業	協働推進・市民の声を聴く課					-					
6							-					
7							-					
8							-					
9							-					
10							-					
11							-					
12							-					
13							-					
14							-					
15							-					
16							-					
17							-					
18							-					
19							-					
20							-					
合計			2.20	200	-	3,992	4,192					

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	35 - 1	事業名	市民参加推進事業								
総合計画	マ	7	一人ひとりが主人公		7	一人ひとりが主人公					
	策	1	まちづくりへの市民参画・協働		1	まちづくりへの市民参加・協働					
	策(小)	1	協働システムの確立と運用		2	情報の提供と啓発の推進					
平成24年度担当	所管	企画経済部 協働推進・市民の声を聴く課	課長	林 俊次	担当	岩本 隆行	電話	72-3153	内線	158	
前年度担当	所管	企画経済部 協働推進・市民の声を聴く課	課長	林 俊次	担当	岩本 隆行					
予算科目	会計	一般会計 (2款3項1目)			事業名	協働推進企画費					
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)										
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
根拠法令、条例等	石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例										
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 14 年度 ~ 未定 年度										

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	全市民	対象数	61,000 人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	行政施策の企画、立案の課程で市民参加の機会を確保する		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	<ul style="list-style-type: none"> ・条例にもとづくガイドラインを作成し、職員に周知する ・市民参加制度調査審議会を開催し、制度の運用状況を検証する ・市民参加手続の実施と結果の公表を行う 		
	事業実施の背景・個別計画等		
	より市民の声を多く反映する行政運営を行うため条例等を制定した		
	この事業に対しての関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			国庫支出金	千円		
道支出金	千円					
地方債	千円					
その他	千円					
一般財源	千円		328	365	292	342
小計(A)	千円		328	365	292	342
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.10	1.00	1.00	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	9,694	9,509	9,509	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	9,694	9,509	9,509	
総コスト(A)+(B)	千円	10,022	9,874	9,801		

事業費の使途等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加制度調査審議会 127千円 (報酬、費用弁償) ・あい・ボード運用費 153千円 ・その他事務費 12千円
---------	--

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	市民参加手続件数(審議会、パブリックコメント等)	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
			実績値	63	35	47	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
		目標値					
		実績値					
		達成率					

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	公開審議会等における1回あたりの傍聴者数	人/回	目標値	2	2	2	2
			実績値	0.78	0.73	0.34	
			達成率	39.0	36.5	17.0	
パブリックコメントに寄せられた意見の数	件	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定	
		実績値	116	91	40		
		達成率	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
		目標値					
		実績値					
		達成率					

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 改善の余地あり		行政の関与	市が実施すべき 民間等でも実施可能 民間等が実施すべき
現状の課題		市民の参画意識を高めること。						
今後の方向性	事業内容	拡充 手法改善 縮小・統合 継続・維持 休止・廃止 市民参加手続は概ね適正に実施されている。市民参加制度調査審議会は今後、良好な運用状況を維持していくための監視役としての役割を重視していく。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	現在、市民参加制度調査審議会で議論されており、その結果を踏まえて審議会の役割を再定義する						

事業に対する市民意見等	

部長評価(2次)		担当部長						
市民意見等に対する回答		反映						
		一部反映						
		不採用						
		実施済み						
		参考						
有効性	期待する成果	上がっている 中位 上がっていない	効率性	費用対効果	高い 中位 低い	妥当性	事業実施の意義	大きい 中位 小さい
	施策への貢献度	高い 中位 低い		事業の実施方法	効果的 中位 改善の余地あり		優先性	施策内における優先度
現状の課題								
今後の方向性		拡充 手法改善 縮小・統合 継続・維持 休止・廃止						

平成24年度(23年度実施事業)事業評価シート

整理番号	35 - 2	事業名	協働推進事業							
総合計画	テーマ	7	一人ひとりが主人公		7	一人ひとりが主人公				
	施策	1	まちづくりへの市民参画・協働		1	まちづくりへの市民参画・協働				
	施策(小)	1	協働システムの確立と運用		3	市民活動の推進				
平成24年度担当	所管	企画経済部 協働推進・市民の声を聴く課	課長	林 俊次	担当	岩本 隆行	電話	72-3153	内線	158
前年度担当	所管	企画経済部 協働推進・市民の声を聴く課	課長	林 俊次	担当	岩本 隆行				
予算科目	会計	一般会計 (2款3項1目)			事業名	協働のまちづくり事業費				
事務分類	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 → (裁量性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い)									
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
根拠法令、条例等	石狩市自治基本条例									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 平成 20 年度 ~ 未定 年度									

事業の内容	対象(この事業は誰、何を対象としていますか?)		
	全市民	対象数	61,000 人
		対象数	
	目的・意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのですか?) 成果指標		
	市民との協働を推進し、市民が主体的に参画するまちづくりを目指す。		
	手段(具体的な事務事業の内容、手順などを簡潔に記載します) 活動指標		
	(1)「石狩市市民活動情報センターばぼらーと」を開設し、市民活動の啓発・支援を行う。 (2)まちづくり井戸端会議「ラウンドテーブル」の開催 (3)「協働事業提案制度」を活用し、市民との協働を推進する。 (4)「協働」に関する啓発、研修の実施。		
	事業実施の背景・個別計画等		
	「自治基本条例」に基づき実施している。		
	この事業に対する関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からの意見・要望等		
平成23年度に改善した事項・重点的に取組んだ事項とその成果			
北海道から特定非営利活動法人の認証等に関する事務の権限移譲を受けたことにより、申請等の利便性が向上した。市民と市職員のまちづくりワークショップを開催し、協働に対する認識を深めた。			

事業費	財源内訳	単位	H21	H22	H23(見込)	H24(予算)
			国庫支出金	千円		
	道支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円		100	200	600
	一般財源	千円	3,683	3,700	3,700	3,700
	小計(A)	千円	3,683	3,800	3,900	4,300
人件費等	正職員従事人数(担当課)	人	1.20	1.00	1.20	特定財源名及び補助率・充当率
	正職員()	人				
	従事正職員の人件費	千円	10,576	9,509	11,411	
	その他間接経費	千円				
	小計(B)	千円	10,576	9,509	11,411	北海道市町村振興協会助成金(補助率100%)
総コスト(A)+(B)		千円	14,259	13,309	15,311	

事業費の使途等	・協働職員研修 200千円 ・市民活動情報センター指定管理料 3,700千円
---------	---

活動指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	活動指標	市民活動情報センター相談件数	件	目標値	未設定	未設定	未設定
実績値				16	14	24	
達成率				#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
市民活動情報センター実施事業数		回	目標値	5	5	5	5
			実績値	8	3	8	
			達成率	160.0	60.0	160.0	
協働事業提案制度実施事業数	件	目標値	5	5	5	5	
		実績値	7	5	3		
		達成率	140.0	100.0	60.0		

成果指標	指標名	単位	項目	H21	H22	H23	H24
	成果指標	市民活動情報センター利用人数	人	目標値	2,000	5,000	5,000
実績値				4,224	5,463	7,206	
達成率				211.2	109.3	144.1	
協働事業の実施数		件	目標値	85	90	95	100
			実績値	86	93	(調査中)	
			達成率	101.2	103.3	#VALUE!	
まちを良くするための各種活動に参加した市民の割合		%	目標値	33.6以上	33.6以上	40	40
			実績値	34.0	36.4	28.6	
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	71.5	

課長評価(1次)								
有効性	期待する成果	上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	大きい
		中位			中位			中位
	上がっていない	低い		事業の実施方法	効果的		行政の関与	小さい
	高い	中位			改善の余地あり			市が実施すべき
施策への貢献度	中位	低い				民間等が実施すべき		
現状の課題		協働の推進のため市民、行政活動全般に働きかける新たな取り組みが必要。また、事務支援を求める情報センターの利用者は伸びているが、市民活動に関する情報提供や運営相談といった機能についてもPRして活用を促し、市民活動の充実を図ることが必要。						
今後の方向性	事業内容	拡充 手法改善 縮小・統合 継続・維持 休止・廃止 協働事業提案制度に新たに市が市民と協働したい事業を提示する「行政提案型」制度を加える。市民活動情報センターの活動等を通して、市と市民、市民同士の協働やつながりを深める。						
	【参考】前年度2次(部長)評価	協働推進のためには、同じ事業に安住することはできない。常に、より効果的な新しい取り組みの開拓が必要。						

事業に対する市民意見等							

部長評価(2次)									
市民意見等に対する回答	担当部長								
	反映								
	一部反映								
	不採用								
	実施済み								
参考									
有効性	期待する成果	上がっている	効率性	費用対効果	高い	妥当性	事業実施の意義	大きい	
		中位			中位			中位	
	上がっていない	低い		事業の実施方法	効果的		優先性	施策内における優先度	高い
	高い	中位			改善の余地あり				中位
施策への貢献度	中位	低い							
現状の課題									
今後の方向性	拡充 手法改善 縮小・統合 継続・維持 休止・廃止								